

折板屋根の断熱材におけるアスベストの含有について

1. 現在、折板屋根に使用している断熱材には一切アスベストは含まれておりません。
2. 過去におけるアスベスト含有断熱材の使用について

折板屋根におけるアスベスト含有断熱材は、主に耐火建築物(屋根 30 分耐火構造)で使われておりました。アスベスト含有断熱材には「吹き付けタイプ」と「裏貼りタイプ」があり、1975 年頃までは主に吹き付けタイプが、それ以降は裏貼りタイプが主に使われておりました。

裏貼りタイプ(接着剤等で折板に貼り付けるタイプ)

製品名		生産終了時期	アスベスト含有量	生産会社
フェルトン	石綿フェルト	～1982 年	90%(白石綿)	ニチアス(株)
ボーロイド K	石綿紙	～1987年	80%(白石綿)	オリベスト(株)
レアフォーム	石綿炭酸カルシウム発泡板	～1991 年	2%(白石綿)	フジ化成工業(株)

吹き付けタイプ

吹き付け材	使用時期
アスベスト	1975 年頃まで
ひる石(バーミキュライト) ロックウール パーライト 発泡けい酸ソーダ	アスベストが含まれていたものがあります。 アスベスト含有品は、1980 年頃まで使用されていました。

3. 裏貼りタイプの判別方法

裏貼りタイプの断熱材にはアスベスト含有製品以外にグラスウール、発泡ポリエチレンフォーム、ロックウールなどがあり、目視による判定は断熱材表面の汚れ等があり困難です。設計図書で確認することが確実です。

4. 断熱材の事前調査等

- ① 事前調査については(社)日本石綿協会の「既存建築物における石綿使用の事前診断監理指針」が参考になります。
- ② アスベスト含有の有無は「石綿含有率等分析機関」に依頼して確認することができます。
- ③ 処理工事には法令を遵守した対応が必要です。
詳しくは、(社)日本石綿協会のウェブサイト(<http://www.jaasc.or.jp>)などを参照してください。
「石綿含有率等分析機関」も上記サイトで確認できます。